

料金後納
ゆうメール

千年の形
中野知昭
漆器展

2016年11月12日(土) - 20日(日) 会期中無休
営業時間 11時~18時 作家在廊日 11月12日(土)・13日(日)

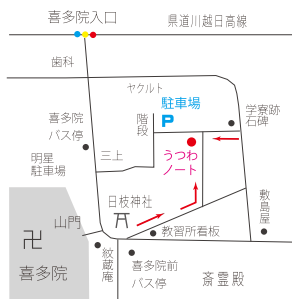
中野知昭さんは漆器の里、福井県鯖江市の河和田で塗師をしています。河和田塗りは「塗り立て」と呼ばれる刷毛塗りで最後に仕上げるのが特徴です。磨きを行わずに、塗りだけで綺麗に終わらせるのは、集中した神経と技術が必要になります。中野さんもその伝統を受け、上塗りの美しさに誇りをもっています。仕上げにたっぷり漆を塗り、かつ綺麗な面を保つことは、簡単なようで難しい技術です。それは使って行く過程で堅牢さにも繋がります。伝統を引き継いだ正攻法の塗物。それが中野知昭さんの漆器の根幹なのです。

今回、新作の皿と鉢を発表します。それは中国宋代の定窯で作られた白瓷の形に倣っています。千年の時を経ても変わらぬ気高く神聖な形。そのフォルムに中野さんの塗りの美しさを重ねたらどうなるか。それが今回の本題となりました。光を受けた柔らかな質感、手にしたときの触感の心地よさ、表層の奥にあるしっかりとした存在感。千年の形と漆の塗りがお互いに極まった時、漆の語源である、まさに「麗し」の姿となるのです。

本展では新作の他に、定番で作っている椀、鉢、皿、丼、盆、箸、匙をはじめ、正月の場を彩る重箱、酒器、隅切膳も並びます。何と言っても漆器にとって年末年始は特別な場。誰もが納得できる漆器を選びました。どうぞお正月準備も兼ねてお越し頂ければ幸いです。 店主

中野知昭プロフィール

- 1975年 福井県鯖江市河和田町生まれ
- 1995年 国立福井工業高等専門学校卒業
- 1995年 建設コンサルタント会社入社
- 1996年 父の病を機に家業を継ぐ 父に師事
- 2016年 現在 福井県鯖江市にて制作活動



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
 本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
 バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり] ~ [喜多院前]
 駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス] ~ [喜多院]
 車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5~8番)

ギャラリー うつわノート
 埼玉県川越市小仙波町1-7-6
 TEL 049-298-8715
 MAIL utsuwanote@gmail.com



定窯写 朱塗・黒塗 広口鉢
w 180 h 64mm



中野知昭 漆器展 千年の形 十一月十二日(土) - 二十日(日)



定窯写 朱塗・溜塗 折腰盤
w 210 h 53mm



GALLERY
うつわノート



定窯写朱塗・溜塗 折沿盤
w.241 h.23 mm



定窯写朱塗・溜塗 笠式鉢
w.212 h.59 mm

